

〈資料〉

広島県における住民の健康づくり行動並びに 保健事業への参加に関連する要因の検討

安 武 繁

(広島県三次保健所庄原支所)

山 本 光 昭

(広島県福祉保健部健康対策課)

畠 秀 治

(広島県三次保健所)

吉 永 文 隆

(広島大学医学部公衆衛生学教室)

An Investigation on the Factors Associated with Health Promotion Behavior and the Participation in Health Affairs of People in the Hiroshima Prefecture

Shigeru YASUTAKE

(from Miyoshi Community Health Center, Shoubara Branch Office, the Hiroshima Prefectural Government, Hiroshima)

Mitsuaki YAMAMOTO

(from Health Promotion and Disease Prevention Division, Welfare and Health Affairs Department, the Hiroshima Prefectural Government, Hiroshima)

Hideharu HATA

(from Miyoshi Community Health Center, the Hiroshima Prefectural Government, Hiroshima)

Fumitaka YOSHINAGA

(from Department of Public Health, Hiroshima University School of Medicine, Hiroshima)

S. YASUTAKE, M. YAMAMOTO, H. HATA and F. YOSHINAGA *An investigation on the factors associated with health promotion behavior and the participation in health affairs of people in the Hiroshima Prefecture.* Bull. Inst. Public Health, 42(4), 549-562, 1993.

Factors influencing on health promotion behavior and the participation in health education and health checkups of people aged 30-64 years at a rural area and an urban one in the Hiroshima Prefecture were investigated, using statistical methods including chi-square tests. The findings were as follows;

- 1) Care for nutrition and rest were correlated with items concerned with social network, especially in a rural area.
- 2) General health checkups, chest X-ray examinations and stomach cancer screenings

[キーワード] 健康づくり行動, 健康教育, 健康診断

[平成5年12月27日受理]

were dependent on the system of health examinations concerned with official organization.

3) Medical staffs should actively relate the significance of cancer checkups to the public. In urban areas abundant in medical resources, the system of individual examinations by family doctors should be facilitated, added to a mass screening system.

4) It is important to take an active part in affairs related to recreation with a view to promoting health of people.

Key Words health promotion behavior, health education, health checkup

(Accepted for publication, December 27, 1993)

はじめに

厚生省は昭和63年度から第2次国民健康づくり対策としてアクティブ・エイティ・ヘルスプランを実施し、これを受けて、平成2年に広島県は、県民健康づくりの総合的な基本計画である県民ヘルスプランを作成し、県民の自助努力を基調とした健康づくりの姿や方向を示し、県や市町村はこれを基本指針として健康づくり施策を推進しているところである。健康づくりの基本は、県民一人一人が「自分の健康は自分でつくる」という自覚と実践意欲を持つことであり、住民の主體的な意識のもとに、日々の生活の中で、バランスのとれた食事の摂取、体力に応じた運動、ストレスや疲労に応じた適切な休養を実践し、その生活スタイルを習慣化し、さらに健康教育や健康診断などの保健事業に積極的に参加することが大切である¹⁾。

ところで保健行動には、大きく2つの要因、すなわち、①保健行動の価値観、疾病への恐怖感の程度といった個人の自覚 (perception) や信念 (belief) といったような心理的要因並びに②人間関係に表される社会的要因 (social network) が関連しており、これらの要因に加え、その人の性別、年齢、家族構成、職業、健康状態、健康に関する情報源、医療、生きがい・楽しみなどが影響すると考えられる^{2),3)}。そこで実効ある健康づくり事業を展開することにより地域住民の主體的な行動を支援するため、広島県内の農村部に属する向原町及び都市部に属する廿日市市に居住する30～64歳の住民を対象に、現時点における地域住民の健康づくり行動の実践並びに健康教育・健康診断などの保健事業への参加の状況を把握し、これらに影響している諸因子について検討することとした。

本調査研究は、広島県の農村部と都市部における住民の健康づくり行動と保健事業への参加の実態を比較

検討したもので、本成績は健康づくり施策としての地域保健活動の今後の方向性を考察するために参考になると考えたので報告する。

方 法

1. 調査対象者、調査時期及び配布回収方法

農村部と都市部それぞれの特性を比較検討するため、調査対象地域としては、広島県のほぼ中央に位置し、農村部に属する向原町と、広島県西部の沿岸部に位置し、人口急増のニュータウンである廿日市市を選定した。また、早期から健康づくり行動の実践と各種保健事業への参加を促し、成人病予防対策を講じるという立場から、調査対象者の年齢属性を30～64歳の壮年層の男女とした。

1) 広島県向原町 (農村部) : 平成4年2月1日現在、広島県向原町に居住する30～64歳の住民約2,000人の中から表1のように性年齢構成毎に層化同数無作為系統抽出した700人を調査対象とした。平成4年2月15日に調査票を郵送し、2月29日までに郵送で回収した。

2) 広島県廿日市市 (都市部) : 平成4年8月1日現在、広島県廿日市市の中でも人口集中地域に居住する30～64歳の住民約2,500人の中から表1のように性年齢構成毎に層化同数無作為系統抽出した1,000人を調査対象とした。平成4年10月19日に調査票を郵送し、11月20日までに郵送で回収した。

なお調査対象者数は、向原町は全部で700人、廿日市市は1,000人となるように、向原町・廿日市市ともに母集団 (全人口) の性・年齢別の人口構成割合を考慮し、また男女同数となるように無作為系統抽出し、表1のように調査対象者数を決定した。

2. 調査内容

「はじめに」で述べたように、保健行動の実行の有無に影響を及ぼすと考えられる因子として、図1に示す

表1 調査対象者及び解析対象者の性・年齢構成と有効回収率

性・年齢構成	向原町（農村部）		廿日市市（都市部）		
	調査対象者数	解析対象者数	調査対象者数	解析対象者数	
男	30～39歳	70	40(57.1)	110	48(43.6)
	40～49歳	105	86(81.9)	170	93(54.7)
	50～59歳	105	85(81.0)	170	102(60.0)
	60～64歳	70	44(62.9)	50	37(74.0)
女	30～39歳	70	40(57.1)	110	62(56.4)
	40～49歳	105	86(81.9)	170	94(55.3)
	50～59歳	105	88(83.8)	170	104(61.2)
	60～64歳	70	50(71.4)	50	35(70.0)
計	700	519(74.1)	1,000	575(57.5)	

注) 解析対象者数 () 内にそれぞれの調査対象者数に対する有効回収率 (%) を記した。

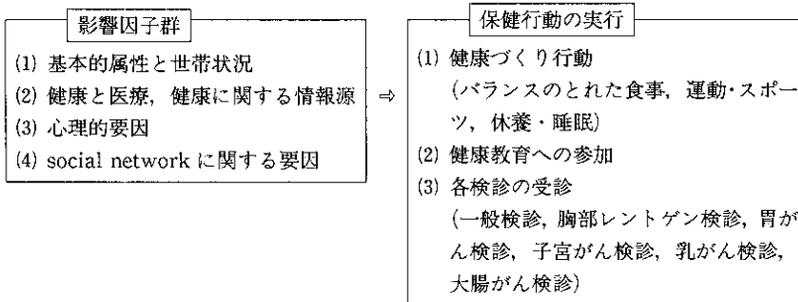


図1 保健行動の実行の有無に影響を及ぼすと考えられる4つの因子群

4群の質問項目を調査検討の枠組みとして設定した。

健康づくり行動としては、バランスのとれた食事の有無、運動・スポーツの習慣の有無、十分な休養・睡眠の有無を取り上げ、保健事業への参加としては、過去1年間における健康教育への参加の有無、過去1年間における一般検診（老人保健法に定める基本健康診査、労働安全衛生法に定める一般定期健康診断など）及び各種がん検診（胃がん、子宮がん、乳がん、大腸がん）の受診の有無を取り上げた。

具体的な調査項目は、表3に掲げてあるように、基本的属性として、性別、年齢、職業の3項目、世帯状況として、同居人数、地域に対する愛着、居住地に住む年数、原爆被爆者手帳の有無、被用者保険本人かどうかの5項目、健康と医療として、健康状態の自己評価、病気予防に対する配慮、かかりつけ医師の有無、治療の有無の4項目、健康に関する情報源として、マスメディア(テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、本)、パン

フレット・講演会、“personal media”（家族や身内のもの、知人、友人、近所の人）、医療関係者(医師、保健婦、看護婦、栄養士、薬剤師)の4項目、心理的要因として、がん検診に対する価値観、がんの罹患性に対する認識、がんの重大性に対する認識、循環器検診に対する価値観、循環器疾患の罹患性に対する認識、健康に関連する生活習慣の実践の循環器疾患予防に及ぼす効果に対する価値観、無理をしない方か、病気の重大性に対する認識の8項目、社会的ネットワークに関する項目として、社会的支援を得られる人としての「手伝う人、代わってくれる人」・「相談できる人」・「安心できる人」・「経済的に頼れる人」・「気持ちを察してくれる人」、他に「地域活動への参加」（子ども会・女性会などの団体活動、趣味・サークル活動、学習活動など）、「近所付き合いの程度」の7項目、楽しみ・生きがいとして、家族の団らん、友人、テレビ・ラジオ、趣味・スポーツ、ボランティア活動、仕事やその仲間との繋

がりの6項目を取り上げた。以上の項目を自記式質問紙により把握した。

宗像は、一般に人が持っているいくつもの社会的関係網を「社会的ネットワーク」と呼び、その社会的関係網の中で行われる相互作用が本人にとって支援的な性質を持つと認められたものを「社会的支援」と呼んでいる⁴⁾。社会的支援は、保健行動の実行にさまざまな影響力を及ぼすと言われている⁵⁾ので、調査項目として上記のような社会的支援に関する項目の有無を尋ねた。

3. 解析方法

栄養・運動・休養などの健康づくり行動を実践している者とそうでない者、健康教育・健康診断などの保健事業に参加したことがある者とそうでない者それぞれについて、他の調査項目毎の頻度を集計し、それぞれについてカイ2乗検定を行い、関連性の強さを表す指標のCramerの係数⁶⁾を算出した。カイ2乗検定の結果、健康づくり行動・健康教育・各種検診と有意差

($p < 0.05$) が認められた調査項目については、その内訳を検討し、各保健行動に関連する要因の特徴を把握した。解析は広島大学総合情報処理センターの大型コンピュータで、統計パッケージSASを用いて行った。健康教育への参加、胃がん検診、大腸がん検診については、老人保健法に定める対象年齢は40歳以上であるので、解析にあたっては40歳以上のみを対象とした。

なお、解析にあたっては、広島県の農村部に属する向原町と、都市部に属する廿日市市それぞれについてデータ解析を行い、得られた成績について両者の比較検討を行うことにより、農村部・都市部それぞれの保健行動の特徴を把握した。

調査成績

1. 解析対象

1) 広島県向原町：郵送総数700のうち、有効回答のあった調査票は519部(有効回収率74.1%)であり、これを農村部の解析対象とした。

表2 解析対象者の性別にみた保健行動の実践状況

	向原町 (農村部)		廿日市市 (都市部)	
	男 n=255 (100)	女 n=264 (100)	男 n=280 (100)	女 n=295 (100)
(1) 健康づくり行動				
バランスのとれた食事	111 (43.5)	152 (57.6)	126 (45.0)	188 (63.7)
運動・スポーツ	40 (15.7)	32 (12.1)	78 (27.9)	56 (19.0)
十分な休養・睡眠	131 (51.4)	145 (54.9)	157 (56.1)	156 (52.9)
(2) 健康教育への参加	25 (9.8)	78 (29.5)	20 (7.1)	60 (20.3)
(3) 各検診の受診				
一般検診	208 (81.6)	182 (68.9)	213 (76.1)	185 (62.7)
胸部レントゲン検診	159 (62.4)	141 (53.4)	164 (58.6)	138 (46.8)
胃がん検診	94 (36.9)	93 (35.2)	90 (32.1)	84 (28.5)
子宮がん検診	--	110 (41.7)	--	99 (33.6)
乳がん検診	--	95 (36.0)	--	72 (24.4)
大腸がん検診	45 (17.6)	50 (18.9)	42 (15.0)	46 (15.6)

表3 健康づくり行動及び健康教育への参加のカイ2乗検定結果とクロス表(1)

調査項目	バランスのとれた食事		運動・スポーツ				十分な休養・睡眠				健康教育への参加					
	農村部		都市部		農村部		都市部		農村部		都市部		農村部		都市部	
	YES	NO	YES	NO	YES	NO	YES	NO	YES	NO	YES	NO	YES	NO	YES	NO
1. 基本的属性																
性別	0.140 ** (女性)		0.180 ** (女性)		(-)		0.107 * (男性)		(-)		(-)		0.274 ** (女性)		0.234 ** (女性)	
男	111	144	126	156	40	215	78	204	131	124	157	125	21	190	17	212
女	152	112	188	112	32	232	56	244	145	119	156	144	71	148	58	177
年齢	(-)		(-)		0.151 ** (30代,40代)		(-)		0.231 ** (60代)		(-)		0.169 ** (50,60代)		(-)	
30代	41	40	51	59	19	62	22	88	36	45	58	52	24	146	23	163
40代	81	92	102	85	29	144	47	140	85	88	91	96	38	131	35	167
50代	87	86	117	90	16	157	53	154	84	89	118	89	30	62	15	56
60代	55	39	39	33	9	85	9	63	73	21	43	29	0.125 * (勤め以外)	0.143 ** (その他)	0.291 ** (その他)	0.235 ** (勤め以外)
職業	0.125 * (勤め以外)		0.143 ** (その他)		(-)		(-)		0.143 ** (勤め以外)		(-)		0.291 ** (その他)		0.235 ** (勤め以外)	
自営	69	51	53	47	18	102	20	80	67	53	50	50	20	85	17	65
勤め	113	142	155	163	39	216	72	246	118	137	178	140	26	188	22	228
その他	73	57	102	54	14	116	41	115	82	48	80	76	41	58	36	90
2. 世帯状況																
同居人数	(-)		(-)		(-)		(-)		0.170 ** (1,2人)		(-)		0.154 * (2人)		0.155 * (2人)	
1人	7	11	13	19	1	17	4	28	13	5	21	11	4	12	2	26
2人	54	42	68	53	11	85	33	88	66	30	69	52	29	59	27	78
3人	58	58	79	57	11	105	33	103	54	62	70	66	21	83	12	99
4人以上	144	145	155	138	49	240	64	229	145	144	153	140	37	185	34	186
地域に対する愛着	(-)		0.111 * (あり)		(-)		0.111 * (あり)		(-)		(-)		(-)		(-)	
強く感じる	131	123	126	97	34	220	64	159	135	119	127	96	53	167	38	155
多少感じる	116	109	150	125	31	194	56	219	124	101	141	134	35	143	29	178
感じない	15	21	24	39	7	29	10	53	16	20	32	31	2	27	6	42
居住地に住む年数	(-)		(-)		(-)		(-)		(-)		(-)		0.150 * (5~10年)		(-)	
5年未満	13	9	53	52	3	19	24	81	14	8	56	49	2	11	6	52
5~10年	18	15	51	44	5	28	24	71	15	18	48	47	9	9	13	51
10~20年	41	28	68	64	13	56	30	102	35	34	62	70	9	43	16	96
20年以上	190	203	132	101	51	342	53	180	213	180	136	97	72	275	39	179
原爆被爆者手帳	(-)		(-)		(-)		(-)		0.087 * (あり)		(-)		0.125 * (あり)		(-)	
あり	26	25	38	27	5	46	18	47	34	17	30	35	18	33	13	49
なし	234	228	276	241	67	395	116	401	241	221	284	233	73	301	62	340
被用者保険本人	0.119 ** (本人以外)		(-)		(-)		(-)		0.103 * (本人以外)		(-)		0.149 ** (本人以外)		0.149 ** (本人以外)	
本人以外	139	105	191	153	37	207	83	261	143	101	186	158	56	148	56	211
本人	122	149	119	112	36	235	51	180	131	140	124	107	34	188	19	174
3. 健康と医療																
健康状態の自己評価	(-)		0.114 * (健康)		(-)		0.151 ** (健康)		(-)		(-)		(-)		(-)	
非常に健康	41	28	67	34	13	56	37	64	37	32	61	40	11	37	10	61
どちらかといえば健康	185	177	214	200	52	310	86	328	196	166	214	200	62	241	59	273
健康でない	37	46	33	33	8	75	11	55	45	38	38	28	19	56	7	53
病気予防に対する配慮	0.124 ** (配慮)		(-)		(-)		(-)		(-)		0.116 ** (なし)		0.220 ** (配慮)		0.162 ** (配慮)	
配慮している	115	81	113	87	28	168	53	147	95	101	92	108	56	117	42	133
配慮していない	149	176	202	183	45	280	81	304	183	142	224	161	36	222	34	258
かかりつけ医師の有無	(-)		(-)		(-)		(-)		0.107 * (あり)		(-)		0.124 * (あり)		(-)	
あり	145	128	180	141	40	233	74	247	160	113	164	157	63	180	46	227
なし	117	125	131	127	32	210	59	199	116	126	149	109	29	156	28	160
治療の有無	(-)		(-)		(-)		(-)		0.089 * (治療中)		(-)		0.156 ** (治療中)		(-)	
あり	118	94	134	121	28	184	55	200	125	87	133	122	53	134	38	188
なし	141	153	176	146	42	252	78	244	147	147	178	144	36	196	37	197
4. 健康に関する情報源 (複数回答可)																
マスメディア	0.118 ** (あり)		0.103 * (あり)		(-)		(-)		(-)		(-)		(-)		0.091 * (あり)	
	243	217	288	229	65	395	123	394	250	210	281	236	82	299	72	339
パンフレット、講演会	0.143 ** (あり)		0.082 * (あり)		(-)		(-)		0.109 * (あり)		(-)		0.353 ** (あり)		0.333 ** (あり)	
	58	29	49	27	12	75	21	55	57	30	36	40	40	36	31	36

表3 健康づくり行動及び健康教育への参加のカイ2乗検定結果とクロス表(2)

調査項目	バランスのとれた食事				運動・スポーツ				十分な休養・睡眠				健康教育への参加			
	農村部		都市部		農村部		都市部		農村部		都市部		農村部		都市部	
	YES	NO	YES	NO	YES	NO	YES	NO	YES	NO	YES	NO	YES	NO	YES	NO
personal media	0.133** (あり)		(−)		(−)		(−)		(−)		(−)		0.118* (なし)		(−)	
医療関係者	125	88	143	104	28	185	56	191	107	106	136	111	29	155	39	158
	(−)		(−)		(−)		0.086* (あり)		0.097* (あり)		(−)		0.122* (あり)		0.124** (あり)	
5. 心理的要因	99	81	104	80	25	155	52	132	108	72	95	89	43	110	36	123
がん検診に対する価値観	(−)		(−)		(−)		(−)		(−)		0.091* (認める)		(−)		(−)	
価値を認める	82	75	89	68	20	137	42	115	77	80	97	60	28	99	18	103
価値を認めない	175	176	223	198	50	301	90	331	194	157	217	204	62	236	56	284
がんの罹患性に対する認識 (がんになるかと思うか)	(−)		0.106* (なし)		(−)		(−)		(−)		(−)		(−)		0.120* (あり)	
よく思う	30	36	41	54	12	54	20	75	33	33	45	50	9	45	19	53
時々思う	166	152	186	157	44	274	78	265	166	152	186	157	60	205	37	234
思わない	66	65	87	58	15	116	35	110	77	54	84	61	23	88	20	103
がんの重大性に対する認識 (がんは助からないかと思うか)	0.150**		0.106*		(−)		(−)		(−)		(−)		0.124*		(−)	
	(助からないと思わない)				(助からないと思わない)				(助からないと思わない)				(助からないと思わない)			
助からないと思う	63	87	66	81	20	130	30	117	79	71	84	63	20	113	29	95
助からないと思わない	44	22	58	47	7	59	27	78	36	30	50	55	16	35	10	63
どちらともいえない	155	142	190	141	44	253	76	255	160	137	181	150	56	198	38	232
循環器検診に対する価値観	(−)		(−)		(−)		(−)		(−)		(−)		(−)		0.124** (あり)	
価値を認める	159	136	174	145	37	258	67	252	160	135	180	139	55	194	52	207
価値を認めない	101	117	137	123	35	183	65	195	115	103	134	126	36	142	22	180
循環器疾患の罹患性に対する認識 (自分もなるかと思うか)	(−)		(−)		(−)		(−)		(−)		(−)		(−)		(−)	
よく思う	28	42	22	32	9	61	12	42	34	36	23	31	12	48	8	33
時々思う	130	125	166	130	41	214	68	228	137	118	162	134	43	171	39	206
思わない	101	87	124	106	22	166	53	177	105	83	130	100	35	119	28	148
健康に関連する生活習慣の実践の循環器疾患予防に及ぼす効果に対する価値観	0.139** (認める)		0.085* (認める)		(−)		(−)		(−)		0.116** (認める)		(−)		(−)	
価値を認める	211	173	232	178	56	328	94	316	199	185	236	174	69	250	55	272
価値を認めない	52	81	77	86	16	117	38	125	78	55	73	90	23	89	19	110
無理をしない方か	(−)		(−)		(−)		(−)		0.246** (はい)		0.257** (はい)		(−)		0.100* (はい)	
はい	141	115	160	121	36	220	66	215	169	87	189	92	53	161	44	174
いいえ	123	140	152	146	36	227	67	231	109	154	124	174	39	178	31	212
病気の重大性に対する認識 (病気になるたら大変だと思うか)	(−)		(−)		(−)		(−)		(−)		(−)		(−)		(−)	
よく思う	111	120	99	100	26	205	40	159	120	111	101	98	39	159	30	132
時々思う	123	113	166	141	40	196	72	235	130	106	178	129	41	150	39	203
思わない	28	23	46	26	7	44	21	51	28	23	34	38	12	29	6	50
6. social network に関する項目 (複数回答可)																
手伝う人、代わってくれる人	0.136** (あり)		0.120** (あり)		(−)		(−)		0.130** (あり)		(−)		(−)		(−)	
	164	125	186	127	43	246	75	238	171	118	172	141	50	187	44	202
相談できる人	0.210** (あり)		(−)		(−)		(−)		0.091* (あり)		(−)		(−)		(−)	
	183	125	207	164	50	258	87	284	176	132	196	175	61	198	51	234
安心できる人	0.117** (あり)		0.126** (あり)		(−)		(−)		(−)		(−)		0.100* (あり)		0.108* (あり)	
	112	80	155	99	34	158	67	187	109	83	130	124	42	115	39	145
経済的に頼れる人	0.118** (あり)		0.095* (あり)		(−)		(−)		0.088* (あり)		(−)		(−)		(−)	
	77	49	113	73	20	106	44	142	77	49	97	89	28	75	29	110
気持ちを察してくれる人	0.196** (あり)		(−)		(−)		(−)		(−)		(−)		(−)		(−)	
	115	64	135	101	26	153	51	185	100	79	121	115	31	115	31	155
地域活動への参加	0.140** (あり)		0.125** (あり)		0.131** (あり)		0.373** (あり)		(−)		(−)		0.157** (あり)		0.186** (あり)	
参加した	131	92	145	91	43	180	99	137	119	104	129	107	51	124	46	140
参加しなかった	133	165	170	179	30	268	35	314	159	139	187	162	41	215	30	251

表3 健康づくり行動及び健康教育への参加のカイ2乗検定結果とクロス表(3)

調査項目	バランスのとれた食事		運動・スポーツ				十分な休養・睡眠				健康教育への参加					
	農村部		都市部		農村部		都市部		農村部		都市部		農村部		都市部	
	YES	NO	YES	NO	YES	NO	YES	NO	YES	NO	YES	NO	YES	NO		
近所付き合いの程度	(－)		0.129** (親しい)		(－)		0.126* (親しい)		(－)		(－)		0.140* (親しい)			
親しい	50	40	46	32	17	73	28	50	50	40	47	31	24	55	17	44
ふつう	196	192	226	175	50	338	81	320	209	179	216	185	63	258	49	276
殆どない	17	18	39	59	4	31	22	76	17	18	49	49	4	23	7	67
楽しみ(家族のだんらん・生きがい)	0.148** (あり)		0.084* (あり)		(－)		(－)		0.117** (あり)		(－)		(－)		0.095* (あり)	
	152	110	156	111	37	225	60	207	155	107	148	119	52	171	40	156
友人	0.166** (あり)		0.097* (あり)		(－)		0.106* (あり)		0.118** (あり)		(－)		(－)		0.172** (あり)	
	116	72	130	86	32	156	62	154	115	73	110	106	38	113	41	124
テレビ、ラジオ	(－)		(－)		(－)		(－)		0.151** (あり)		(－)		(－)		0.097* (あり)	
	102	84	100	79	25	161	38	141	118	68	103	76	37	130	31	112
趣味、スポーツ	0.088* (あり)		0.106* (あり)		0.204** (あり)		0.315** (あり)		(－)		0.116** (あり)		(－)		0.110* (あり)	
	133	107	193	137	52	188	114	216	123	117	195	135	47	143	53	215
ボランティア活動	(－)		(－)		(－)		0.089* (あり)		(－)		(－)		0.109* (あり)		0.151** (あり)	
	15	7	21	10	5	17	12	19	14	8	16	15	8	11	11	18
仕事やその仲間との繋がり	(－)		(－)		0.110* (あり)		(－)		(－)		0.087* (なし)		(－)		(－)	
	64	49	59	38	24	89	28	69	57	56	43	54	19	76	14	64

注1) (－)は有意差なし、* (p<0.05)と** (p<0.01)は有意差ありを表し、有意差が認められた変数にはCramerの係数を示した。有意差が認められた変数については、その内訳を検討し、Cramerの係数の下に、その保健行動を実践している傾向を示したカテゴリーを記した。

注2) "YES"とは、該当する健康づくり行動を実行している・健康教育に参加したことを示す。"NO"とは、該当する健康づくり行動を実行していない・健康教育に参加しなかったことを示す。

2) 広島県廿日市市：郵送総数1,000のうち、有効回答のあった調査票は575部(有効回収率57.5%)であり、これを都市部の解析対象とした。

解析対象者の性・年齢構成と有効回収率は表1に示したとおりである。また各保健行動の実践の有無の状況を表2に示す。

2. 健康づくり行動及び健康教育への参加のカイ2乗検定結果

各健康づくり行動及び健康教育への参加と、各調査項目との間でカイ2乗検定を行い、有意差が認められた項目とその関連の強さを表すCramerの係数を表3に示した。農村部、都市部別にみた主な特徴は次のとおりである。

1) 農村部、都市部に共通して認められた傾向

女性は「バランスのとれた食事をしている」、「健康教育に参加したことがある」傾向を認めたが、勤労者はそれらをしていない傾向を認めた。「バランスのとれた食事をしている」傾向のある人は、「健康に関する情報をマスメディア、パンフレット、講演会などがら得ている人」、「がんになっても(必ずしも)助からないと思わない人」、「生活習慣に対する価値観を持っている人」などであった。栄養(バランスのとれた食事)は、

“social network”の項目と有意な関連性が認められた。また「地域活動に参加している」人は、「バランスのとれた食事をしている」、「運動・スポーツをしている」、「健康教育に参加したことがある」傾向を認めた。

2) 農村部で特徴的に認められた傾向

農村部では、「バランスのとれた食事」、「十分な休養・睡眠」は、“social network”の項目と有意な関連性が認められ、関連性の強さを表す指標のCramerの係数も大きい値を示した。「健康に関する情報を“personal media”から得ている」人は、「バランスのとれた食事をしている」傾向を認めた。「仕事やその仲間との繋がり生きがいとしている」人は、「運動・スポーツをしている」傾向を認めた。

3) 都市部で特徴的に認められた傾向

「自分の住んでいる地域に対して愛着を感じている」人は、「バランスのとれた食事をしている」、「運動・スポーツをしている」傾向を認めた。また「スポーツを趣味・生きがいとしている」人は、他の健康づくり行動(栄養、休養)も行っている傾向を認めた。「親しい近所付き合いのある」人は、「バランスのとれた食事をしている」、「運動・スポーツをしている」、「健康教育に参加したことがある」傾向を認めた。「友人がいる」、「ボ

表4 健康診断のカイ2乗検定結果とクロス表(1)

調査項目	一般検診		胸部レントゲン検診				胃がん検診				子宮がん検診				乳がん検診				大腸がん検診					
	農村部		都市部		農村部		都市部		農村部		都市部		農村部		都市部		農村部		都市部					
	YES	NO	YES	NO	YES	NO	YES	NO	YES	NO	YES	NO	YES	NO	YES	NO	YES	NO	YES	NO	YES	NO		
1. 基本的属性																								
性別	0.158** (男性)		0.149** (男性)		0.124* (男性)		0.163** (男性)		(-)		(-)		(-)		(-)		(-)		(-)		(-)			
男	208	29	213	50	159	48	164	67	85	71	83	83								42	94	36	101	
女	182	59	185	87	141	74	138	112	88	76	75	91								48	104	44	109	
年齢	0.156** (40,50代)		0.188** (50,60代)		0.180** (40代)		0.161** (40,50代)		(-)		0.165* (50,60代)		0.201* (40~60代)		(-)		0.234* (40~60代)		0.210* (40,50代)		0.153* (60代)		(-)	
30代	51	23	63	43	36	30	52	52				11	24	17	41	8	26	10	48					
40代	140	20	128	46	116	30	103	60	68	67	51	86	45	32	38	38	33	35	29	45	31	92	32	96
50代	132	29	154	33	100	41	114	46	70	54	77	66	37	26	35	36	35	28	26	38	34	75	31	91
60代	69	16	49	15	50	21	31	21	36	26	26	22	17	14	8	10	19	14	6	13	25	31	17	22
職業	0.322** (勤め)		0.331** (勤め)		0.336** (勤め)		0.423** (勤め)		0.166** (勤め)		(-)		(-)		(-)		0.221** (自営・勤め)		(-)		(-)		(-)	
自営	79	27	52	41	62	33	30	49	36	40	25	37	26	14	17	23	20	16	15	25	26	46	16	40
勤め	229	17	258	38	185	34	221	53	102	65	94	82	39	31	39	40	42	29	28	44	39	106	41	107
その他	74	41	83	56	48	52	50	74	30	41	36	53	43	50	41	59	32	57	28	72	21	44	22	59
2. 世帯状況																								
同居人数	(-)		0.123* (2人,3人)		(-)		(-)		(-)		(-)		(-)		(-)		(-)		(-)		(-)		(-)	
1人	15	1	17	10	14	1	8	11	5	2	7	8	5	1	5	7	5	1	3	7	3	4	3	10
2人	76	16	86	23	58	19	58	32	42	26	37	31	23	21	18	25	24	20	13	31	23	35	14	42
3人	86	17	100	23	63	23	74	36	45	28	44	36	24	19	24	20	19	21	19	23	23	40	27	44
4人以上	214	54	195	81	167	79	162	100	82	91	70	99	58	55	52	73	47	61	37	84	41	119	36	114
地域に対する愛着	(-)		(-)		(-)		0.168** (あり)		(-)		0.206** (あり)		(-)		0.191** (あり)		(-)		0.192** (あり)		(-)		(-)	
強く感じる	198	36	161	45	149	50	122	60	101	61	72	64	56	30	40	38	49	34	32	45	56	85	36	79
多少感じる	165	44	185	69	131	60	142	87	60	73	66	80	45	58	48	63	39	60	32	74	31	94	35	95
感じない	25	8	41	17	19	11	29	24	11	11	14	23	8	7	8	17	6	8	5	18	2	16	6	29
居住地に住む年数	0.218** (20年以上)		(-)		0.150* (20年以上)		(-)		(-)		(-)		(-)		0.217* (20年以上)		(-)		(-)		(-)		(-)	
5年未満	18	4	68	31	15	6	54	39	5	3	21	24	5	5	14	25	5	5	8	30	2	5	11	29
5~10年	16	15	37	27	14	16	46	33	6	9	18	27	9	16	17	28	6	18	13	30	4	9	6	34
10~20年	48	15	97	29	40	16	77	36	21	19	42	40	21	17	30	25	13	22	24	28	12	26	21	50
20年以上	308	54	166	45	232	84	118	64	141	116	72	77	75	58	36	40	71	58	26	49	72	158	38	92
原簿被爆者手帳	(-)		0.184** (あり)		(-)		0.100** (あり)		(-)		0.174** (あり)		(-)		0.157* (あり)		(-)		0.178** (あり)		(-)		0.186** (あり)	
あり	45	4	59	2	25	7	35	10	17	10	29	12	11	7	11	4	7	9	11	7	9	12	16	15
なし	345	81	339	135	276	112	267	168	156	134	129	162	98	87	88	121	88	92	61	138	79	183	64	195
被用者保険本人	0.236** (本人)		0.274** (本人)		0.276** (本人)		0.324** (本人)		0.148** (本人)		0.181** (本人)		(-)		(-)		(-)		0.147* (本人)		(-)		(-)	
本人以外	151	61	199	110	105	80	139	140	66	78	77	115	56	57	64	92	43	62	44	108	39	91	48	127
本人	235	27	195	25	191	42	160	36	105	68	80	57	52	39	34	30	50	41	27	34	47	106	32	80
3. 健康と医療																								
健康状態の自己評価	(-)		(-)		(-)		0.117* (健康)		(-)		(-)		(-)		(-)		(-)		(-)		(-)		(-)	
非常に健康	51	13	64	33	38	20	44	42	21	13	17	30	12	16	17	25	9	18	9	31	13	17	8	31
どちらかといえば健康	276	60	288	88	212	82	227	117	120	106	121	120	80	64	71	86	69	68	56	99	59	146	59	156
健康でない	59	15	45	16	47	20	31	20	29	28	19	24	16	15	10	14	15	16	6	15	16	34	12	23
病氣予防に対する配慮	0.196** (配慮)		0.294** (配慮)		0.179** (配慮)		0.223** (配慮)		0.295** (配慮)		0.408** (配慮)		0.430** (配慮)		0.399** (配慮)		0.445** (配慮)		0.407** (配慮)		0.286** (配慮)		0.383** (配慮)	
配慮している	168	16	168	14	135	31	125	35	97	39	91	32	66	17	55	22	60	20	45	31	57	65	54	55
配慮していない	224	72	232	124	167	91	179	145	77	108	67	144	44	79	44	104	35	83	27	115	33	133	26	157
かかりつけ医師の有無	(-)		(-)		(-)		(-)		(-)		(-)		(-)		0.164* (あり)		(-)		0.225** (あり)		(-)		(-)	
あり	211	44	224	70	157	65	161	94	107	77	98	93	67	48	65	63	59	52	53	73	58	105	53	114
なし	180	41	171	68	145	54	139	86	67	67	59	82	42	45	33	63	36	48	19	73	31	90	27	97
治療の有無	0.171** (治療中)		0.198** (治療中)		0.141** (治療中)		0.151** (治療中)		0.119* (治療中)		0.180** (治療中)		(-)		0.299** (治療中)		0.162* (治療中)		0.232** (治療中)		(-)		0.141* (治療中)	
あり	176	22	195	37	129	36	143	58	79	53	89	70	46	29	54	32	41	30	37	43	42	75	45	87
なし	202	66	199	100	160	86	156	121	85	94	65	106	60	66	44	92	50	72	32	102	42	122	34	124
4. 健康に関する情報源(複数回答可)																								
マスメディア	0.115* (なし)		(-)		(-)		(-)		(-)		(-)		(-)		(-)		(-)		(-)		(-)		(-)	
	342	85	350	124	267	115	266	164	159	135	141	156	103	89	94	114	89	96	68	133	84	178	70	189
パンフレット、講演会	(-)		(-)		(-)		(-)		(-)		(-)		(-)		(-)		0.251** (あり)		(-)		0.175** (あり)		0.135* (あり)	
	74	9	51	14	56	14	43	18	37	22	26	21	26	16	24	21	32	13	19	26	26	28	18	25

表4 健康診断のカイ2乗検定結果とクロス表(2)

調査項目	一般検診		胸部レントゲン検診				胃がん検診				子宮がん検診				乳がん検診				大腸がん検診							
	農村部 YES	都市部 NO	農村部 YES	都市部 NO	農村部 YES	都市部 NO	農村部 YES	都市部 NO	農村部 YES	都市部 NO	農村部 YES	都市部 NO	農村部 YES	都市部 NO	農村部 YES	都市部 NO	農村部 YES	都市部 NO	農村部 YES	都市部 NO						
personal media	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)						
医療関係者	161 0.227** (あり)	36 0.144** (あり)	175 0.157** (あり)	53 0.180** (あり)	121 0.212** (あり)	52 0.172** (あり)	139 0.203** (あり)	71 0.135* (あり)	68 0.201** (あり)	63 0.176** (あり)	66 0.164** (あり)	72 0.223** (あり)	43 0.160* (あり)	48 0.223** (あり)	52 0.164** (あり)	56 0.176** (あり)	37 0.164** (あり)	51 0.176** (あり)	35 0.164** (あり)	67 0.164** (あり)	34 0.164** (あり)	88 0.164** (あり)	31 0.223** (あり)	88 0.223** (あり)		
5. 心理的要因																										
がん検診に対する価値観	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
価値を認める	117	29	107	43	83	42	80	53	44	43	44	49	29	34	29	30	27	35	21	36	21	36	21	56	25	54
価値を認めない	270	56	289	94	216	76	221	126	127	101	112	126	79	59	69	95	65	66	50	108	68	138	56	156	55	156
がんの罹患性に対する認識(がんになるかと思うか)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	0.155*	0.211*	0.186*	0.194*	0.214**	0.160*	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
よく思う	54	9	73	16	41	12	54	30	21	17	36	20	19	6	20	20	16	7	16	24	12	21	15	28	15	28
時々思う	246	52	229	85	198	72	180	105	115	90	88	108	76	65	66	70	65	69	50	83	66	121	49	130	49	130
思わない	91	26	97	37	63	36	69	45	38	39	34	48	15	25	13	36	14	27	6	39	12	55	16	54	16	54
がんの重大性に対する認識(がんは助からないかと思うか)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
助からないと思う	114	25	102	30	83	36	79	37	49	43	37	42	23	23	20	22	19	25	17	24	24	55	15	48	15	48
助からないと思わない	48	12	74	25	36	16	54	33	18	18	21	30	13	13	19	24	12	14	12	29	7	26	9	31	9	31
どちらともいえない	228	49	223	83	182	67	170	110	106	84	100	104	74	60	60	80	64	64	43	93	58	115	56	133	56	133
循環器検診に対する価値観	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	0.111*	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
価値を認める	222	53	206	80	168	70	157	105	98	80	76	104	61	49	51	76	57	51	35	88	49	111	43	121	43	121
価値を認めない	166	34	189	57	130	51	143	74	72	66	80	70	47	45	47	49	35	51	35	57	38	86	37	88	37	88
循環器疾患の罹患性に対する認識(自分もなるかと思うか)	(-)	0.113*	0.133*	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	0.201*	(-)	0.201*	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
よく思う	57	9	41	12	45	14	30	14	30	19	17	9	14	9	8	7	14	8	5	9	14	25	8	12	8	12
時々思う	202	38	212	59	158	52	166	85	88	69	84	98	54	44	54	59	52	46	38	74	50	96	49	114	49	114
思わない	128	41	142	67	95	56	104	81	52	59	56	68	39	43	36	60	27	49	28	63	25	75	23	84	23	84
健康に関連する生活習慣の実践の循環器疾患予防に及ぼす効果に対する価値観	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
価値を認める	290	66	274	98	223	89	213	126	126	102	107	124	85	69	68	91	76	75	48	105	65	142	59	144	59	144
価値を認めない	102	21	118	37	79	32	85	51	48	45	49	47	25	26	30	32	19	27	22	38	25	56	20	62	20	62
無理をしない方か	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
はい	184	44	185	72	135	58	135	93	84	70	75	79	56	46	52	64	52	47	38	77	41	89	39	98	39	98
いいえ	208	44	210	65	167	64	165	86	90	77	81	95	54	50	45	61	43	56	32	68	49	109	40	111	40	111
病気の重大性に対する認識(病気になるたら大変だと思うか)	(-)	0.113*	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
よく思う	178	37	139	38	144	53	107	55	84	67	63	54	60	41	38	44	51	45	30	47	42	94	34	65	34	65
時々思う	174	42	214	74	133	57	158	96	75	69	78	92	43	48	53	61	40	50	33	79	40	88	41	112	41	112
思わない	39	9	41	25	24	12	34	28	15	11	16	27	7	7	7	20	4	8	8	19	8	16	5	31	5	31
6. social networkに関する項目(複数回答可)																										
手伝う人、代わってくれる人	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	0.205** (あり)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
相談できる人	211	55	221	68	163	77	169	95	91	83	95	87	66	62	76	72	60	65	53	89	49	111	47	108	47	108
安心できる人	233	52	262	79	177	77	205	104	101	89	103	102	71	61	73	88	63	66	53	103	59	118	50	124	50	124
経済的に頼れる人	(-)	0.106* (なし)	0.106* (なし)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	0.123*	(-)	(-)	(-)	0.214** (なし)	(-)	0.147* (なし)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
気持ちを察してくれる人	90	24	131	43	66	39	105	55	41	37	50	53	23	39	46	44	23	39	31	53	24	49	23	69	23	69
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
	137	30	166	49	107	48	129	65	53	56	66	65	37	35	43	50	33	40	31	55	30	74	38	79	38	79

b. がん検診 「原爆被爆者健康手帳を所有している」人は、すべてのがん検診の受診傾向を認めた。「かかりつけ医師のいる」人は、子宮がん検診、乳がん検診の受診傾向を認めた。「治療中」の人は、子宮がん検診、大腸がん検診の受診傾向を認めた。「がんの罹患性に対する認識を持っている」人は、胃がん検診の受診傾向を認めた。

考 察

本研究の調査方法は、自記式質問紙を調査対象者に郵送し、郵送で回収したものであった。有効回収率は、向原町(農村部)で74.1%、廿日市市(都市部)で57.5%と、都市部において低かった。また、性・年齢構成別にみると、農村部、都市部とも若い年齢層が最も低い傾向を示し、都市部では60~64歳の高年齢層で有効回収率約70%と比較的高かったが、これは、年齢が高くなるほど健康に対する関心が高くなるため回収率が高くなったものと推測される。なお、向原町(農村部)の場合、本調査が町の老人保健福祉計画策定のための基礎調査(65歳以上の高齢者を対象)と合わせ実施されたため、調査に対する関心が高まったことで回収率が高率になったと考えられる。したがって、今後この種の調査で有効回収率を上げるためには、調査に対する関心を高めることを狙い、食生活改善推進員など日頃健康づくりの指導を行っているマンパワーによる個別の配布回収が望ましいと考えた。

1. 健康づくり行動

1) バランスのとれた食事について

毎日の食事は、健康増進、成人病予防、治療を目的とした食事療法、さらに食生活を通じて良好な人間関係を形成するなどといったように、幅広い意味と価値を持っている⁹⁾。「バランスのとれた食事」に有意に関連する要因として、特に農村部では“social network”(人との交流の程度)に関する項目が多くあげられた。すなわち、良好な食生活の維持のためには人間関係が重要な要素であることが示唆された。良好な食生活の維持のためには、家族の団らんや友人との交際、精神的支援を享受できる人がいることなどが有効であると考えられる。また、男性はバランスのとれた食事をしている割合は低く、特に外食の機会が多い男性の勤労者は、成人病予防のための適切なバランスのとれた食

事に対する認識が十分でないと考えられた。著者らは1990年に広島県の都市近郊において壮年層の健康づくりの実態を調査したが、特に男性で、成人病予防のための適切な栄養バランスに対する配慮が少なく、摂取栄養素のバランスに偏りがあることが伺われ⁷⁾、今回も同様な結果であった。

a. 病態別の健康教育の推進 農村部・都市部ともに、「バランスのとれた食事」に関連する要因として、生活習慣の価値観やがんの重大性に対する認識があげられた。食生活と成人病予防の関係について、循環器疾患予防、がん予防、骨粗鬆症予防などの病態別に、食生活に関連した具体的な内容の健康教育を推進する必要がある。

b. 健康づくりの集団学習 良好な食生活の実践には、家族、友人や近隣地域との付き合いに表される社会的交流が関与したことから、保健所が開催する健康セミナーなどの集団指導の機会を積極的に活用し、参加者同志の交流を支援し、栄養・運動・休養の生活習慣に関する情報交換を活発にすることによって、参加型健康学習による健康づくりの輪を広げることが必要である⁹⁾。

c. 外食での栄養バランスに対する配慮 特に男性や勤労者では外出する機会が多いため、成人病予防のための食事や糖尿病などの食事療法に対する支援が必要であると考えられる。レストランでの栄養価の表示の指導・普及を図り、また、食生活改善事業に男性を積極的に参加させる配慮が必要である。

2) 運動・スポーツの習慣について

健康づくり行動の中でも特に運動の実践状況は低かった。日常生活の中で適度な運動を取り入れることは、健康・体力の維持のためだけでなく、人間関係を円滑にしたり、ストレス解消のためにも大切である⁹⁾。今回の調査成績から、運動・スポーツを実践している人の都市部における特徴として、「地域に対する愛着がある」、「地域活動に参加している」、「親しい近所付き合いがある」といったように地域との交流があること、また生きがい・楽しみとして、友人との交際やボランティア活動への参加があげられた。したがって都市部では、身近な所で実施できるウォーキングの普及やスポーツセンターなどでのスポーツ大会の実施によって、地域のコミュニティ形成による仲間づくりと生き

がいの獲得を目指すことがあげられる⁹⁾。また農村部では、運動・スポーツの実践と「仕事やその仲間との繋がり」とに有意な関連があったことから、職制や農協、住民団体を通じてスポーツ大会やレクリエーションの開催によって運動普及を進めることが有効であると考える。

3) 休養・睡眠について

農村部において十分な休養・睡眠をとっている人の特徴として、「バランスのとれた食事」と同様、“social network”に関する項目との有意な関連が多く認められたのが特徴である。すなわち、家族とのだんらんや、友人との交際を生きがい・楽しみにあげた人が多く、また都市部においては趣味・スポーツを生きがいとする人が有意に多い傾向が認められた。したがって、ストレス解消のための積極的な休養をとるためには、家族とのだんらんの時間をもつこと、何でも話ができる友人を多く持つこと、趣味を持つこと、スポーツによって人との交流を活発にすることなどが有効であると考えられる。

ストレス解消のための休養は、健康づくりの三本柱を構成する栄養・運動との適切な組み合わせを図ることが大切である。これまで食生活改善推進員は、地域における望ましい栄養改善を普及啓発するために、広く活躍してきた。これら食生活改善推進員が運動・休養面の研修を積み重ね、健康づくりに関連した幅広い栄養を身に付けることによって、地域における総合的な健康づくりの担い手となることが期待される¹⁰⁾。

2. 健康教育

今回の調査成績から、健康教育の参加者は、勤め・自営以外の比較的高齢の女性に多く、家庭の主婦層が多いと考えられ、参加者の層が固定化している傾向を認めた。また、健康教育への参加に関連する項目として農村部、都市部で共通して認められたのは、健康に対する関心が高いこと、地域活動に参加していることなどであった。特に都市部では、“social network”に関する項目との有意な関連が多かった。

1) 家庭と地域ぐるみの健康づくり対策

健康教育の参加者の多くは家庭の主婦であることから、参加者がその会得した知識を家庭に還元できるように、家族全体の健康づくりの指導者となれるような内容を目指すことが必要である。健康教育の方法は、

集団教育による知識の伝達だけでは効果が上がらず、個人に対するアプローチが有効であり、今後もその方向に向かうと考えられるが、個別の保健指導を担うマンパワーには限度があるので、個人に対するアプローチと同時にこうした家庭と地域ぐるみの健康づくり対策が今後は不可欠のアプローチである。

2) 地域活動と連携した健康教育の実施

調査成績から、健康教育への参加は地域活動への参加と有意な関連が認められた。保健センター、老人福祉センター、老人集会所、公民館などでの老人の健康づくりにとって有意義な趣味・スポーツや学習活動の行事を活性化し、これらの場を活用した健康教育を実施することも有効であると考える。

3. 一般検診(基本健康診査などの検診)、胸部レントゲン検診

農村部、都市部に共通して、一般検診と胸部レントゲン検診の受診行動には、人との交流の程度を表す“social network”に関する項目よりも、職業(勤労者であれば、労働安全衛生法に定める検診を受診する義務がある)や原爆被爆者健康手帳(所有していれば原爆被爆者検診を受けることができる)に基づく検診体制、病気予防に対する配慮(健康に対する関心の高さ)や、治療中であることに表される日頃の医療従事者との接触の程度が強く関与していた。これは、特に内科系で定期的に治療を受けている人では、日常の診療そのものが一般検診の役割を果たしていることも関連性があると解釈できる。著者らの高齢者の一般健康診断の受診行動についての研究¹¹⁾でも、医療保険の種類(原爆被爆者健康手帳・被用者保険本人の有無)、医療の環境(特にかかりつけ医師)と強い関連が認められた。したがって、特に比較的若い年齢層の主婦などのように検診体制に属していない人に対し、各市町村が成人病予防の検診の意義を啓発して受診勧奨の指導にあたり、また受診者の高いニーズや利便性も考慮して、老人保健事業第三次計画にあるように、医療機関における個別受診の促進を図る必要がある。

4. がん検診

農村部では、都市部と比較すると、がん検診の受診行動と、地域との交流の程度との関連が強く、農村部では特に地域の地区組織活動を活用したがん検診の受診奨励が有効であると考えられる¹²⁾。胃がん検診では、

農村部・都市部ともに職制の検診体制に関連した受診傾向が認められた。胃がん検診は、胃がんが依然として最も頻度の高いがんであり、職場においても実施される機会が多いためと考えられる。一方、大腸がん検診は職制の検診体制と有意な関連は認められず、職制による大腸がん検診の検診体制はまだ不十分であると考える。大腸がん検診は、「パンフレット・講演会から健康に関する情報を得ていること」と有意な関連が認められた。胃がん検診は地域だけでなく職制においても既に普及しており、周知度も高いと考えられるが、特に大腸がん検診は実施以来日がまだ浅く、しかも将来増加が見込まれているものであり、大腸がん検診についてはその意義を、パンフレット、講演会、マスメディアによってもっと広めなければならない。1991年の総理府広報室の調査結果「健康づくりについての情報源」で最も多いのは、「テレビ・ラジオ」であり、マスメディアでは活字よりも映像・音声を用いたキャンペーンが住民にとって馴染みがあると考えられる¹³⁾。

医療関係者から健康に関する情報を得ている人は、すべてのがん検診の受診傾向を認めており、がん検診の普及啓発については、医師や保健婦など保健医療従事者による健康教育の果たす役割が大きい。したがって、がん予防に関する生活習慣についての正確な知識や、がん検診の内容、意義と限界について、がん予防の健康教育やマスメディアを活用したキャンペーンを推進する必要がある。ふだんより治療中の方は、がん検診の受診傾向を認めた。今後、特に医療資源の豊富な都市部では、従来の集団検診方式に加え、かかりつけ医師を通じての個別の検診受診の体制を導入していくことが有効であると考えられる。

がん検診の受診行動は、心理的要因に関する項目のうち、「がんの罹患性に対する認識(自分もがんになるかもしれないと思うか)」との関連が多く認められた。したがって、健康教育では、がんは日本人の最大死因であり、いわゆるがん年齢は男性40歳以上、女性30歳以上で、ふだん健康と思っている人でもだれでもかかる可能性があること、がんは早期発見すれば完全治癒する見込みも高いことに対する理解を得ることによって、がん検診受診への動機付けを強めることに繋げたいと考える。

結 語

これまでの調査成績から、友人や近隣地域との付き合いに表される社会的交流は、保健行動を良好な方向に促すという点で、重要な役割を演じていることが示唆された。健康づくり対策を推進する際には、個人が地域社会と取り結ぶ人間関係(社会的ネットワーク)に配慮する必要がある¹⁴⁾。したがって、地域ぐるみの健康づくりを達成するためには、今後は健康づくり事業も生きがい・学習活動の企画と積極的に連携することが大切であると考えられる。今後保健所は、各種団体(公衆衛生協議会、母子保健推進員、食生活改善推進員、また新たに健康づくり推進員)の育成を図り、その活動を促すことによって、健康づくりを地域に広げていくように推進すべきである。さらに教育・福祉部門との連携としては、民生委員、女性団体への関与が考えられる。

謝 辞

本調査研究事業は厚生省の保健事業費等国庫補助金による地域保健推進特別事業(平成4年度)として実施されたものである。本事業の企画にあたっては、高橋透・広島県福祉保健部長をはじめ、牛尾光宏・環境庁大気保全局企画課課長補佐(前 広島県健康対策課長)、南 典昭・広島県三原保健所長、近末文彦・広島県海田保健所長、広島県可部保健所及び廿日市保健所の方々にご指導をいただいた。

最後に、本調査研究事業に多大なご協力をいただきました広島県向原町と廿日市市の方々に厚くお礼申し上げます。

文 献

- 1) 宮坂忠夫：保健医療の5段階と健康教育、新版保健学講座7巻「健康教育論」、宮坂忠夫、川田智恵子(編)、メヂカルフレンド社、東京、35-42、1991。
- 2) 宗像恒次：保健行動の一般モデル、行動科学からみた健康と病気、宗像恒次、メヂカルフレンド社、東京、107-148、1990。
- 3) 安武 繁、奥井敬雄、吉永文隆：健康診断の受診行動をどう捉えるか—受診行動と関連する要因の検討と受診行動の新しいモデル「情報-行為の意味的關係モデル」の提案、公衆衛生研究、41(1)、2-12、1992。

- 4) 宗像恒次：保健行動の実行を支える諸条件，行動科学からみた健康と病気，宗像恒次，メヂカルフレンド社，東京，125-148，1990.
- 5) 竹内 啓(編)：関連性の指標，統計学辞典，東洋経済新報社，東京，334-346，1989.
- 6) 川久保清，中村丁次，宗像恒次，川田智恵子，高木俊和：ヘルスプロモーション，新版保健学講座4巻「健康管理論」，郡司篤晃(編)，メヂカルフレンド社，東京，72-130，1991.
- 7) 安武 繁，椎木照子，松室祥士，南 典昭，吉水文隆：広島県八千代町における壮年者の高齢化社会に対する意識に関する調査研究，厚生指標，39(2)，13-18，1992.
- 8) 鈴木寿子，青木久枝，高橋たか子：東京都八王子保健所の「あなたの栄養展」―「耕し育てる健康の輪」―，公衆衛生，55(11)，782-786，1991.
- 9) 海老原 修，江橋慎四郎：コミュニティ・スポーツの社会的機能について―コミュニティ形成に果たす役割の検討―，レクリエーション研究，8，41-50，1979.
- 10) 岐阜県衛生環境部保健予防課：県民の健康づくりに関する意識の現状と今後のボランティア活動，公衆衛生情報，19(10)，8-11，1989.
- 11) 安武 繁：高齢者の保健行動に関する研究 第2報 受診行動に及ぼす社会的要因の影響と受診行動の新しいモデル，広島大学医学雑誌，37(1)，1-13，1989.
- 12) 松島松翠，横山孝子，朝田 捷，飯島郁夫，佐々木徳子，黒沢和雄，宮沢昭一，岡村吾郎：農村地域におけるプライマリ・ヘルスケアの確立に関する研究―とくに組織的な取り組み態勢について―，日本農村医誌，36，96-105，1987.
- 13) 佐久間 淳：現代の生活と健康・福祉，保健福祉学入門，佐久間 淳，大修館書店，東京，7-12，1993.
- 14) 芳賀 博：健康老人のための保健活動，老人保健活動の展開，柴田 博(編)，医学書院，東京，240-255，1992.